



# とびっくす No.8

(本誌はホームページでもご覧いただけます。 <http://www.pref.shimane.lg.jp/suigi/> )

## プランクトンの死骸が大量漂着！

### 腐った魚？

4月13日、浜田警察署の生活安全課から水産技術センターに次のような電話がありました。「浜田市日脚海岸に魚の腐敗臭のするヘドロ状のものが打ち寄せられている。何か調べてもらえないか？」早速、標本瓶とカメラを持って現場に駆けつけました。

現場は波打ち際から数メートル離れた、コブシ大の石が堆積している場所で、辺りには海藻の切れ端やゴミが散在していました。よく見ると、石の上にはネバネバした泥状の物質が付着していました(写真1, 2)。近づくにつれ魚の腐ったような臭いが強くなり、かなりの悪臭です。地元の人によれば、10日前くらいからこの海岸一帯で漂着が確認されていたようです。



写真1 漂着現場の様子

### 正体はプランクトンの死がい

現場を観察した後、泥状の物質を水産技術センターに持ち帰り顕微鏡で確認しました。結果は、大半がウミタル(写真3)という動物プランクトンでした。また、植物プランクトンである珪藻類も混じていました。一部原形に近いものも見られましたが、ほとんどは腐敗が進行し溶けたような状態でした。

### 春に大増殖するプランクトン

毎年春になると、野や山では緑が芽吹きますが、この時期海でも同じようなことが起こってい



写真2 石の上に付着する泥状の物質

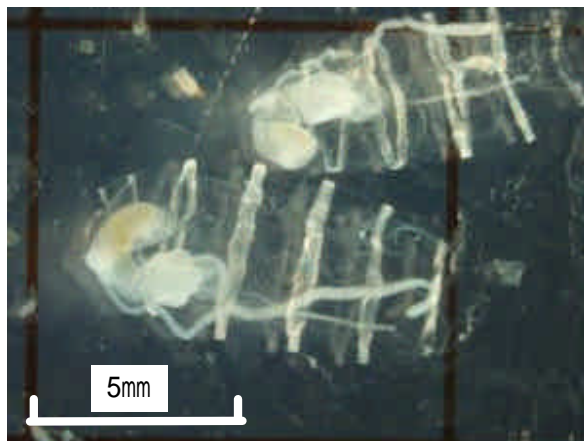


写真3 ウミタルの顕微鏡写真

ます。水温の上昇とともに植物プランクトンが大繁殖をします。これをスプリング・ブルーム（春の大繁殖）と呼んでいます。それを食べる動物プランクトンも大増殖します。漁業者はこの時期のプランクトンの死骸などを、海のヨゴレとか海のヌタという表現をしておりますが、年による多い少ないはあるものの普通に見られる現象です。今回のように海岸に漂着して、一般の人の目についたのは、プランクトンが大発生し、その後死亡したものがしばらく続いた北寄りの強い風によって、海岸に打ち寄せられたものと考えられます。

## コラム：春によく見られるプランクトンの大発生について

### ヤコウチュウ（夜光虫）

前述のように毎年春には県内の海で多くのプランクトンの繁殖が見られます。代表的なものはヤコウチュウで、毎年各地の沿岸を一面に赤く染めいわゆる赤潮を形成しますが、このヤコウチュウの赤潮は魚介類には害を及ぼしません。ヤコウチュウは単細胞の原生動物で、その名のとおり刺激を与えると発光します。

### サルパ類

また、近年ではこれまであまりなかった種類のプランクトンの発生が見られます。

今回漂着したプランクトンはウミタルと呼ばれる生物でしたが、これに近いサルパの仲間の発生が最近増えています。サルパやウミタルは寒天状の透明な体を持つ全長数ミリ～数センチの生物で、一見クラゲのようですがクラゲとは全く違う生き物で、魚や哺乳動物などの脊椎動物の祖先に近いグループに属しています。サルパは単体で浮遊していることもありますが、群体と言ってたくさんの個体が集まった集合体を形成していることもあります。

記憶に新しいところでは平成12年（2000年）に県内でもトガリサルパの仲間が大発生しました。この時はサルパが港を埋め尽くして泡だらけの状態になり漁船の航行に支障が出るほどで、当時の新聞を賑わせました。トガリサルパの大発生は以前にはあまり見られなかった現象ですが、近年は頻繁に見られるようになっています。最近では今年3月にも山口県川尻沖の日本海でトガリサルパが大量に確認されています（山口県水産研究センターの調査）。また、2004年にはオオサルパという大型のサルパが日本海で多く発生し、場所によっては底びき網などの漁業に影響を与えるほどでした。

近年これらサルパ類の発生が増えた原因は海水温の上昇など海況の変化によると言われていますが、はっきりとしたことは分かっていません。



ヤコウチュウ



写真4 ヤコウチュウによる赤潮  
（平成17年3月、浜田市長浜港）

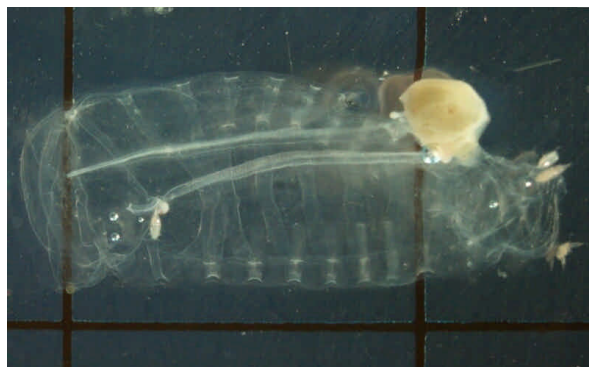


写真5 トガリサルパ



写真6 オオサルパ

島根県水産技術センター 島根県浜田市瀬戸ヶ島町 25-1

TEL (0855)22-1720 FAX (0855)23-2079

ホームページ： <http://www.pref.shimane.lg.jp/suigi/> E-mail: [suigi@pref.shimane.lg.jp](mailto:suigi@pref.shimane.lg.jp)